

## 第23回 教育研究評議会議事要録

- 日 時 平成18年1月18日(水) 午後3時30分～午後4時50分
- 場 所 第一会議室
- 出席者 久米学長、清水理事、井上理事、岡本理事、奥村文学部長、野口理学部長、  
上野生活環境学部長、矢野人間文化研究科長、的場附属図書館長、水上附属学校部長、  
出田、森岡、池原、富崎、磯田、小城、今井、坂本各評議員
- 列席者 位田総務・企画課長、上岡人事課長、河井国際課長、吉田研究協力課長、松田財務課長、  
荒生施設企画課長、山本学務課長、岸田学生生活課長、岡本図書課長

議事に先立ち、前回記録を確認。

### I 審議事項

#### 1. 学内諸規程の制定等について

##### (1) 国立大学法人奈良女子大学学則の一部改正(案)について

井上理事から、資料1-1により改正の趣旨及び内容について説明があり、学長から諮られ、審議の結果、教養教育科目のサブカテゴリーとして位置付ける基礎科目群及び教養科目群の学則への明記の可否について検討することとして承認し、役員会へ提案することとした。

##### (2) 国立大学法人奈良女子大学における化学物質等の管理に関する規程(案)について

総務・企画課長から、資料1-2により制定の趣旨及び内容について説明があり、学長から諮られ、審議の結果、第2条第1項第六号を「その他の管理すべき教育研究用化学物質」に修正することとして承認し、本日付けで施行することとした。

##### (3) 奈良女子大学利益相反委員会規程(案)について

清水理事から、資料1-3により制定の趣旨及び内容について説明があり、学長から諮られ、審議の結果、原案どおり承認し、本日付けで実施することとした。

#### 2. 奈良女子大学と放送大学との間における単位互換モデル構築に向けた研究プロジェクトの実施に関する覚書(案)等について

井上理事から、放送大学との連携に係る審議及び研究プロジェクト実施に係る検討の経緯等について説明の後、学務課長から、資料2-1～2-2により研究プロジェクト実施に関する覚書(案)及び学部規程改正(案)の内容について説明があり、学長から諮られ、審議の結果、教養教育科目のサブカテゴリーとして位置付ける放送大学プロジェクト科目群の学則への明記の可否について検討することとして承認し、覚書の締結及び学部規程改正に向けた手続きを進めることとした。

## II 報告事項

### 1. 平成18年度概算要求等内示事項について

学長から、平成18年度概算要求内示事項及び平成17年度補正予算内示事項について資料3により報告があり、耐震化対策による文学部北棟改修工事の実施にあたっては全学をあげて対応する必要があることの説明があった。

また、学長から、平成16年度決算剰余金の翌事業年度への繰越しに係る文部科学大臣の承認を受けた額等について説明があった。

### 2. 総合研究棟（コラボレーションセンター）関連事項について

学長から、コラボレーションセンター竣工記念式典の開催について資料4により案内があった。

また、学長から、耐震化対策による文学部北棟改修工事に伴い、研究室等の移転先を確保する必要があることから、コラボレーションセンターへ入居予定の研究室等については、入居時期を延長し、研究室等の移転先に充てたい旨説明があり、これを了承した。

### 3. アスベストに関する対応について

学長から、電気室アスベスト除去工実施のため3月25～26日に西町地区が全学停電となること及びB棟、D棟のアスベスト除去工事については関係部局と相談のうえ別途計画を立てて作業を進めたいこと等の工事計画概要について説明があり、協力について依頼があった。

### 4. 奈良女子大学学報発行規程を廃止する規程の制定について

総務・企画課長から、1月11日開催の部局長会議の承認に基づき奈良女子大学学報発行規程を廃止する規程を制定したことの報告があり、資料5により制定の趣旨等について説明があった。

### 5. 第18回役員会について

学長から、12月22日に開催した第18回役員会における審議・決定事項等について報告があった。

### 6. 社団法人国立大学協会会員代表者等連絡会について

学長から、12月26日に開催された社団法人国立大学協会会員代表者等連絡会における文部科学省からの連絡事項について資料6及び補足資料により報告があった。

なお、学長から、総人件費改革に対応する本学の人件費計画を早期に策定したいことの説明があり、協力について依頼があった。また、今後の特別教育研究経費の概算要求にあたっては、大学の研究戦略を明確にする必要があること及び設備マスタープランがないと予算化が困難であることから、部局要求にあたっては、これらの観点により計画立案願いたい旨依頼があった。

### 7. その他

(1) 学長から、社会連携センター、アジア・ジェンダー文化科学研究センター及び男女共同参画推進室構成員等について資料7により報告があった。

(2) 附属図書館長から、資料により附属図書館における校史関係史料展示について案内があ

った。また、電子ジャーナルの検索サイトについて資料により案内があり、周知について依頼があった。

次回教育研究評議会を2月15日（水）午後1時から開催することとして散会

以 上